

3 Ver.8.20からVer.8.30について

3.1 追加機能一覧

Ver.8.21

Ver.8.21についてのマニュアルの変更内容はありません。

Ver.8.30

番号	項目
1	☞「3.1.1 画像処理において、CPUコアを有効に使用し、処理能力を向上することができるようになりました。」

3.1.1 画像処理において、CPUコアを有効に使用し、処理能力を向上することができるようになりました。

CPUコアとは、パソコンのCPUに内蔵されているプロセッサ（命令を処理する装置）のことです。以下の条件を満たす場合に、CPUコアをより有効に使用することができ、画像処理の能力を向上することができます。

諸条件にもよりますが、画像処理の能力は、約1.5倍から2倍くらいの向上が見込めます。

重要

- 画像処理（画像の読み込みや、補正、プリント用画像の生成など）の能力は向上しますが、プリント処理能力はプリンターに依存するため、必ずしもプリント処理が速くなるわけではありません。
- 読み込む画像の数や容量、補正の仕方、CPU以外のパソコンの能力などによっては、処理能力の向上が制限されることがあります。

CPUコアを有効に使用できる条件

以下の条件をすべて満たす場合に、CPUコアを有効に使用することができます。

- パソコンのCドライブと画像保存用ドライブ（例えばDドライブ）の両方がSSDであること
- CPUコア数が6個以上であること

設定

画像処理の能力を向上させたい場合は、「システム設定」画面の「CPUコアを有効に使用する」を「使用する」に設定します。

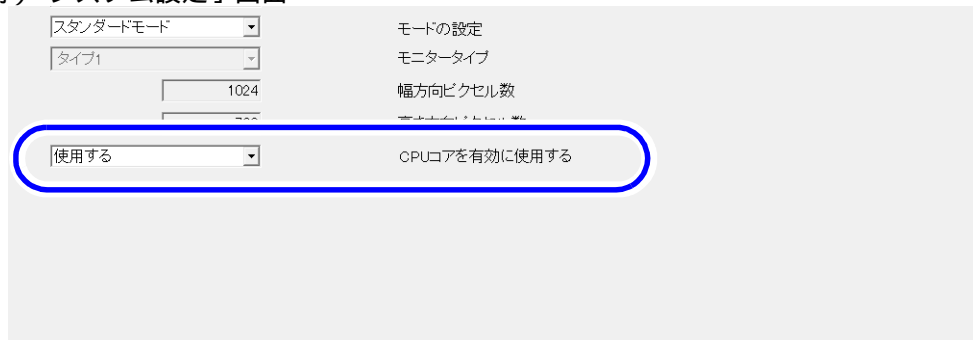
参考

- 上記の条件を満たさない場合、この機能は操作不可になります。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “システム設定”

(例)「システム設定」画面



S5111-00-UM00

4 Ver.8.10からVer.8.20について

4.1 追加機能一覧

番号	項目
1	☞「4.1.1 EZ Quick Access (オプション)に対応しました。」
2	☞「4.1.2 ホットフォルダ (オプション) を使用時、オーダーのすべてのプリントをプリント受け皿に排出できるようになりました。(対象プリンター: QSS-37、39シリーズ)」

4.1.1 EZ Quick Access (オプション) に対応しました。

- 詳細は、EZ Quick Accessのマニュアルを参照してください。

4.1.2 ホットフォルダ (オプション) を使用時、オーダーのすべてのプリントをプリント受け皿に排出できるようになりました。(対象プリンター: QSS-37、39シリーズ)

ホットフォルダ (オプション) を使用時、ホットフォルダからオーダーのすべてのプリントをプリント受け皿に排出するように指定があった場合、プリントサイズに関わらずすべてのプリントをプリント受け皿に排出します。

EZ Controller側の操作や設定は、特に何も変更ありません。

重要

- この機能を使用するには、ホットフォルダ Ver.4.4以降が必要です。
ホットフォルダの「コマンドファイル仕様」をご覧ください。
- プリンターは、QSS-37シリーズとQSS-39シリーズのみ対応しており、Ver.19.33以降が必要です。
QSS-37シリーズとQSS-39シリーズの「新機能の説明 (Ver.19.33)」も合わせてご覧ください。

5 Ver.8.01からVer.8.10について

5.1 追加機能一覧

番号	項目
1	☞「5.1.1 CVPでの裏印字の仕様が変更になりました。」

5.1.1 CVPでの裏印字の仕様が変更になりました。

プリンターのオプションであるCVPが新しいものに変更になります。
それに伴い、EZ Controller側でも裏印字の仕様がいくつか変更になります。

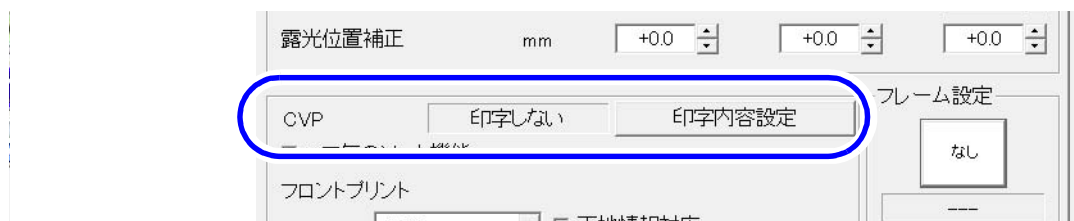


重要

- これらの変更は、プリンターでの新旧CVPの装着状況とプリンターソフトのバージョンに関連しています。プリンター側で新CVPが装着されており、プリンターソフトが新CVP対応のバージョンである場合は、EZ Controllerは、必ずVer.8.10以降を使用してください。

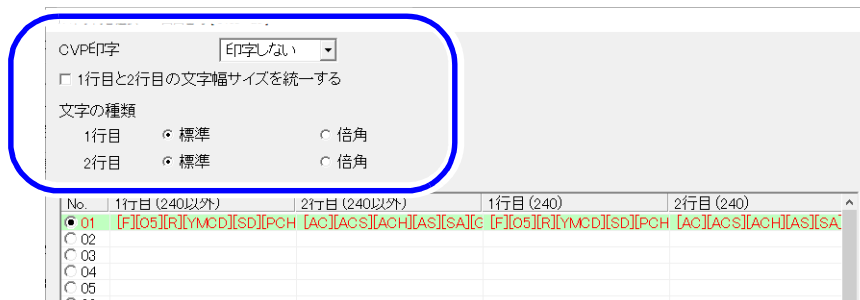
[変更(1)] 1行印字と2行印字を選択可能

裏印字を1行のみ印字するか、2行印字するか選択することができます。
「プリントチャンネル設定」画面のCVPの設定箇所、「CVP印字内容設定」画面が以下のようになります。



S107169

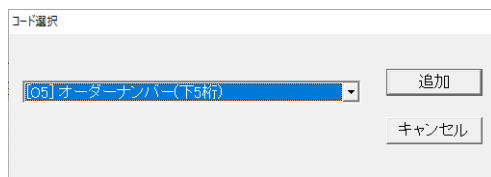
「CVP印字内容設定」画面



S107170

項目	内容						
CVP印字	<p>裏印字の方法を「印字しない」「1行印字」「2行印字」から選択します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 新CVPでは、2行印字の場合、2行目の文字が1行目より小さくなります。また、1行印字の場合、2行分の縦幅を使用して1行を印字します。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">2行印字</td> <td style="text-align: center; width: 50%;">1行印字</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2行目の文字が1行目より小さくなる</td> <td style="text-align: center;">2行分の縦幅を使用して1行を印字</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 1行印字の場合、「CVP印字設定」で1行目に設定した内容が印字されます。 	2行印字	1行印字			2行目の文字が1行目より小さくなる	2行分の縦幅を使用して1行を印字
2行印字	1行印字						
2行目の文字が1行目より小さくなる	2行分の縦幅を使用して1行を印字						

印字コードに[O5]オーダーナンバー（下5桁）が追加されます。



S107171

コード	説明	印字内容
O5	オーダーナンバーの8桁のうち、下5桁を印字します。オーダーナンバーを8桁で印字したい場合は、印字コード[O]を使用してください。他に印字する項目や文字数、文字サイズの関係から、オーダーナンバーを短く印字したい場合に[O5]を使用してください。	#####

[変更(3)] 印字内容の登録数を20個から50個に増加

「機能選択」画面の「CVP印字設定」タブで設定する印字内容の登録数が50個になります。



S5120-00-UM04

[変更(4)] 240フィルムからプリントした場合の印字内容について

240フィルムからプリントした場合の印字内容が以下ようになります。

印字選択	印字内容
1行印字	「CVP印字設定」で1行目に設定した内容が印字されます。240フィルムの磁気情報は印字されません。
2行印字	従来から変更ありません。240フィルムの磁気情報を使用し、「2行コレクション印字仕様」の設定に従います。 <ul style="list-style-type: none"> 印字仕様を「TYPE1」に設定している場合 240フィルムの磁気情報が印字された後に、「CVP印字設定」で設定した内容が印字されます。 印字仕様を「TYPE2」に設定している場合 240フィルムの磁気情報のみ印字されます。「CVP印字設定」で設定した内容は印字されません。

[変更(5)] 外部受付端末からのオーダーをプリントした場合の印字内容について

外部受付端末からのオーダーをプリントした場合の印字内容が以下のようになります。

印字選択	印字内容
1行印字	外部受付端末独自の印字内容が印字された後に、「CVP印字設定」で1行目に設定した内容が印字されます。
2行印字	<ul style="list-style-type: none">• 1行目 外部受付端末独自の印字内容が印字された後に、「CVP印字設定」で1行目に設定した内容が印字されます。• 2行目 外部受付端末独自の印字内容が印字された後に、「CVP印字設定」で2行目に設定した内容が印字されます。

6 Ver.8.00からVer.8.01について

6.1 追加機能一覧

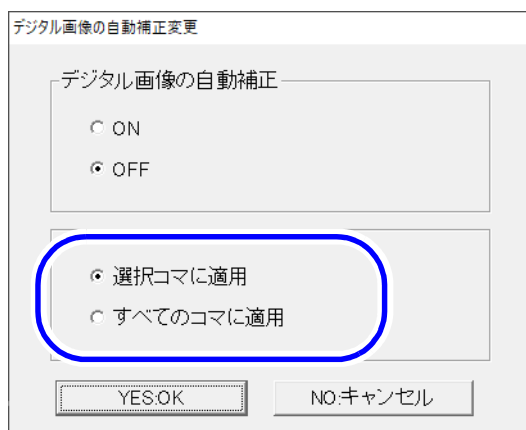
番号	項目
1	☞「6.1.1「ジャッジ画面」で、「デジタル画像の自動補正変更」機能をすべてのコマにも適用できるようになりました。」
2	☞「6.1.2 フレーム合成画像をメディア出力できるようになりました。」
3	☞「6.1.3 証明写真において、「写真画像挿入時に補正値をHOLDする」機能をONにした場合、画像の回転については、HOLDするかどうか選択できるようになりました。」

6.1.1 「ジャッジ画面」で、「デジタル画像の自動補正変更」機能をすべてのコマにも適用できるようになりました。

「ジャッジ画面」の「FUNCTIONの機能」にある「自動補正変更」において、「デジタル画像の自動補正」のON/OFFの切り替えを、現在選択しているコマだけ適用するか、すべてのコマに適用するか選択することができます。

画面の表示方法

“ジャッジ画面” 「F」ボタンをクリック “自動補正変更”



S107164



重要

- ・「エディット」画面にある「自動補正変更」では、この機能は対応していません。

6.1.2 フレーム合成画像をメディア出力できるようになりました。

フレームプリントをする場合のメディア出力では、これまでは元画像しか保存されませんでした。フレームを合成した画像も保存できるようになりました。

条件

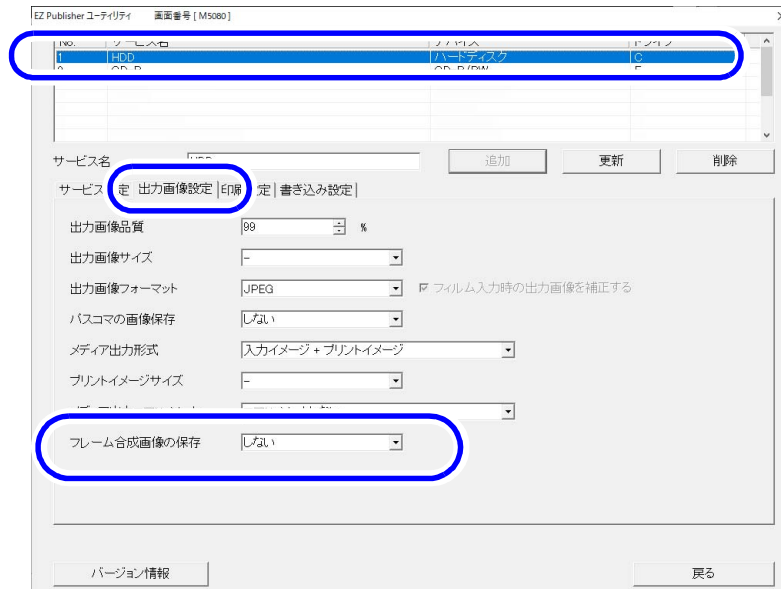
- ・出力メディアの種類が「ハードディスク」の場合のみ。
- ・出力画像フォーマットは、「JPEG」固定。
- ・圧縮率は、95%固定。
- ・色空間は「sRGB」固定。
- ・「パソコンの画像保存」をONにしても、パソコンのフレーム合成画像は保存されません。
- ・フレーム合成画像の保存先は、「書き込み設定」タブの「保存先フォルダ」で指定したフォルダの下に生成される、「CPIM」というフォルダになります。
- ・フレーム合成画像のファイル名は、「書き込み設定」タブの「出力画像ファイル名」の設定に従います。

設定

ハードディスクのサービスの「出力画像設定」タブを表示し、「フレーム合成画像の保存」を「する」に設定します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “出力メディア” “ハードディスクのサービスを選択” “「出力画像設定」タブ”



S107165

6.1.3 証明写真において、「写真画像挿入時に補正値をHOLDする」機能をONにした場合、画像の回転については、HOLDするかどうか選択できるようになりました。

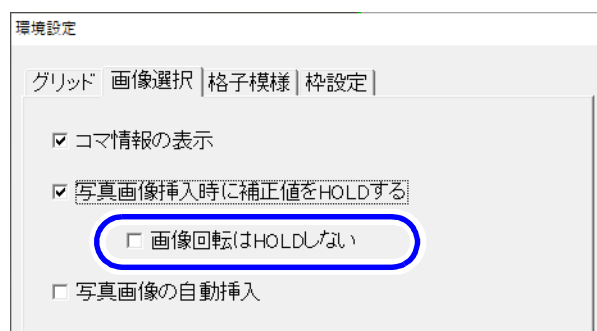
「写真画像挿入時に補正値をHOLDする」機能には、画像回転の補正値も含まれていますが、この補正値をHOLDするかどうか選択できます。

設定

画面の表示方法

“「エディット」画面” “環境設定” “「画像選択」タブ”

(例)「環境設定」画面



S107166

画像回転はHOLDしない	内容
チェックなし	画像回転をHOLDします。 前コマの回転状況を次の画像にも引き継ぎます。 参考 • Ver.7.40で追加された画像の向きを判定して画像挿入時に回転させる機能は、無効になります。
チェックあり	画像回転をHOLDしません。 前コマの回転状況を次の画像にも引き継ぎません。 参考 • Ver.7.40で追加された画像の向きを判定して画像挿入時に回転させる機能は、有効になります。

7 Ver.7.40からVer.8.00について



重要

- EZ Controller Ver.8.00以降は、Windows11とWindows10 (Ver.1809以降) にインストールすることができます。

7.1 追加機能一覧

Ver.7.41

Ver.7.41についてのマニュアルの変更内容はありません。

Ver.8.00

番号	項目
1	☞「7.1.1 Windows11上でEZ Controllerを使用できるようになりました。」
2	☞「7.1.2 RAW画像の取り扱いできる最大画像サイズを拡張しました。」

7.1.1 Windows11上でEZ Controllerを使用できるようになりました。

使用できるWindows11は以下のとおりです。

- Windows11 Pro 64bit版 (日本語版、英語版)



重要

- Administrator権限、ユーザー権限のどちらでも使用できます。
- ユーザーアカウント制御はOFFで使用してください。
- Windows11を新規インストールした場合に使用できます。
旧のOSからWindows11にアップグレードする場合は、いったんEZ Controllerをアンインストールし、Windows11にアップグレードした後に、EZ Controllerをインストールしてください。
EZ Controllerをアンインストールせず、Windows11にアップグレードした場合は、動作保証できません。
- タッチパネルに対応したパソコンを使用する場合は、通常のタッチするだけの操作は可能ですが、スワイプ、フリック、ピンチなどの特有の操作はできません。
- 市販プリンター (DS40/DS80) は、Windows11に対応したドライバーがあれば使用できます。
- 当社推奨のフラットベッドスキャナーをWindows11でも使用できます。ただし、Windows11に対応したドライバーが必要です。
- メディア出力をする場合、CD、DVD、ハードディスク以外のメディアへは保存できません。
SDカードやUSBフラッシュメモリなどにメディア出力したい場合は、お手数ですが、いったんハードディスクなどに出力した後に、コピーしてください。
- スキャナーやプリンターも別途対応予定です。

パソコンの推奨スペックについて

パソコンの推奨スペックは、Windows10での推奨スペックと同等で、CPUのスペックが異なります。

CPUの推奨スペック

標準パソコン	高能力パソコン
Core i3-8100同等以上 (SSE2対応)	Core i5-8400同等以上 (SSE2対応)

オプションのWindows11対応について (2022年3月現在)

以下に示すオプション以外は、Windows11上で使用できます。

以下に示すオプションは、Windows11上で使用できない、または使用する上で注意事項があります。

オプション	対応/未対応	注意事項
QSS店頭受付ソフト	未対応	
BluetoothプログラムCD	未対応	
IrDAプログラムCD	未対応	
Noritsu Quick Access	未対応	

オプション	対応/未対応	注意事項
QSS プリンタードライバー (Z811288-01、 Z811289-01)	対応	Windows11に対応したバージョンであれば、使用可能。
Connection S/W for EPSON Printer (Z890022-01、 Z890023-01)	対応	接続するプリンターがWindows11に対応していれば使用可能です。
EZ System Manager	対応	このソフト自体はWindows11未対応ですが、Windows11にインストールしたEZ Controllerと接続して使用する場合は、処理可能です。

7.1.2 RAW画像の取り扱いできる最大画像サイズを拡張しました。

RAW画像の最大画像サイズ

総ピクセル数120,000,000ピクセル (例 10,000ピクセル × 12,000ピクセル)

ただし、以下の条件を満たす画像は取り扱いできません。

- 縦横どちらか片方が32ピクセル未満のとき
- 縦横両方とも10,000ピクセルを超えるとき
- 縦横どちらか片方が12,000ピクセルを超えるとき